

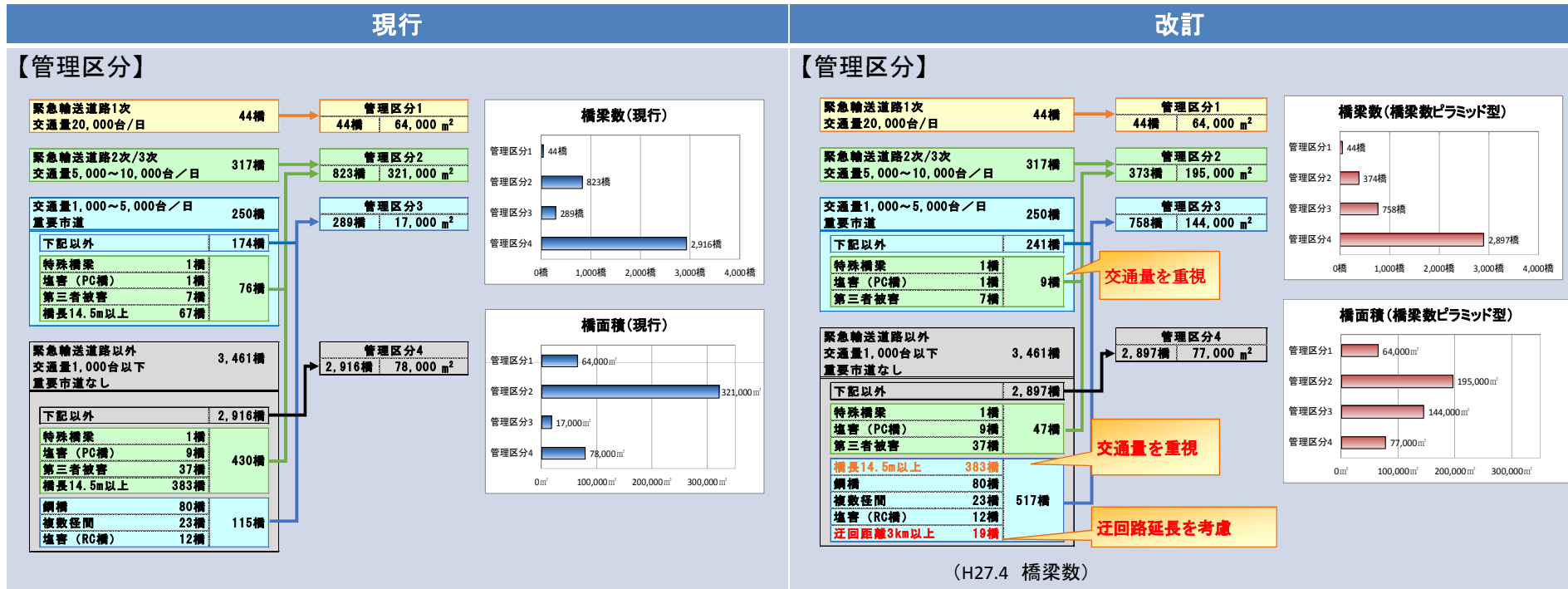
《新潟市橋梁長寿命化修繕計画の見直し》

【管理区分及び管理水準】

戦略的な取組の視点

戦略的な修繕計画の策定

- 道路橋の重要度評価は、橋梁の劣化に影響を与える交通量を重視
- 道路橋の重要度評価において、迂回路の距離を考慮



【管理水準】

健全度区分	管理区分				全国統一の診断区分
	1	2	3	4	
A					I 健全
B1	▲				
B2		▲			II 予防保全段階
C1			▲		
C2				▲	III 早期措置段階
C3					
E					IV 緊急措置段階

変更なし

【管理水準】

健全度区分	管理区分				全国統一の診断区分
	1	2	3	4	
A					I 健全
B1	▲				
B2		▲			II 予防保全段階
C1			▲		
C2				▲	III 早期措置段階
C3					
E					IV 緊急措置段階

管理区分: メリハリのある維持管理のため、道路ネットワークや橋梁特性を考慮して、管理橋梁を4つのグループに分け、それぞれ管理目標を設定したもの。
 管理水準: メリハリのある維持管理のため、管理目標を達成するために設定した維持する健全度。

《新潟市橋梁長寿命化修繕計画の見直し》

【維持管理シナリオの導入】

戦略的な取組の視点

戦略的な修繕計画の策定
効果的な維持管理の推進

- 道路橋の重要度等により、シナリオ※を設けメリハリのある維持管理・補修を強化
- 長大橋等の重要橋梁は、新たなメンテナンスを導入し手厚い予防保全により長寿命化を推進

※シナリオ：重要度・橋梁形式等に応じ、橋梁ごとに維持管理するレベルを変化させる

現行 改訂

【管理区分・管理目標】

管理区分	管理目標
管理区分1	損傷・劣化の発生を早期に検知・補修することで、橋梁の長寿命化を図る。工事に伴う利用規制を最小限に抑える。
管理区分2	損傷・劣化の発生を早期に検知・補修することで、橋梁の長寿命化を図る。工事に一時的な利用規制は受容できる。
管理区分3	損傷の発生を計画的に把握し、顕在化した損傷箇所を補修することで道路機能を維持する。工事に伴う一時的な利用規制は受容できる。
管理区分4	損傷の発生を計画的に把握し、必要最小限の維持管理によって橋梁の安全性を確保する。場合によっては重量規制や通行止めを行うことも視野に入れる。

【管理区分・管理目標・シナリオ】

管理区分	管理目標	維持管理シナリオ			
		早期対策	戦略的シナリオ		
管理区分1	同左	健全度回復	スーパー ハイスベック メンテナンス	ハイスベック メンテナンス	更新
管理区分2	同左		スタンダード メンテナンス	ミニマム メンテナンス	
管理区分3	同左			—	—
管理区分4	同左	小規模橋梁			

- 健全度回復：管理水準を下回った橋梁で、早期に健全度回復するため、最小限の補修を実施。
- スーパーハイスベックメンテナンス：特に重要な橋梁で、更なる長寿命化のため手厚い予防保全を実施。
- ハイスベックメンテナンス：重要な橋梁で長寿命化のため予防保全を実施。
- スタンダードメンテナンス：従来通りの維持管理を実施。
- ミニマムメンテナンス：元の性能が低く延命化が期待できない橋梁などで、最小限の維持管理を実施。
- 更新：架替事業中や架替検討が必要な橋梁で、更新までの維持管理を実施。
- 小規模橋梁：管理区分4の橋梁で緊急時の応急対応のみを実施。通行規制や更新に伴う集約・廃橋も検討。

【補修優先度】

【管理区分】
【健全度】
で評価

管理区分	健全度区分					
	E	C3	C2	C1	B2	B1
1	①	④	⑦	⑩	⑫	次回点検時 まで見送り
2	②	⑤	⑧	⑪		
3	③	⑥	⑨			
4	優先度評価対象外（エンジニアリングジャッジ）					

同一の評価となった場合は橋長による順番改定

ルール化による自動算出
エンジニアリングジャッジ

地域機関間の事業バランス、施工性を考慮した調整

【補修優先度】

現行に加えて

【シナリオ（健全度回復）】
【損傷部位】
【凍結防止剤散布有無】
【迂回路距離】
等で評価

レベル1 工学的判断

- ✓ 悪い健全度 (E) ⇒ 最優先 1×10^7
- ✓ 健全度マトリクス ⇒ 点数化 (下記表) $\times 10^4$

		健全度						
		E	C3	C2	C1	B2	B1	A
管理区分	1	-	18	15	12	9	6	3
	2	-	17	14	11	8	5	2
	3	-	16	13	10	7	4	1
	4	-	-	-	-	-	-	-

レベル2 健全度回復シナリオ（健全度回復シナリオが存在する間のみ）

- ✓ 健全度回復シナリオの橋梁 ⇒ 1×10^6

レベル3 経営・リスク観点の判断

- ✓ 損傷部位・凍結防止剤散布有無等 ⇒ 点数化 $\times 10^3$

レベル4 経済損失の判断

- ✓ 迂回路距離 × 交通量 ⇒ 点数化 $\times 10^1$

《新潟市橋梁長寿命化修繕計画の見直し》

【健全度審査会議の設置】

戦略的な取組の視点

点検・診断体制の強化

- 道路橋の健全度評価において、専門家で構成する会議に諮る
- これにより、緊急対応や要架替と診断した橋梁の妥当性を評価

